

男女共同参画に関する意識調査報告書

平成22年12月

南三陸町

【 目 次 】

I	調査の概要	1
1	調査の目的	
2	調査の方法	
3	回収状況	
4	報告書の見方	
II	調査の結果	2
	◇個人	
1	基本属性	2
2	男女平等に関する意識について	5
3	結婚、家庭について	7
4	家庭での役割分担について	8
5	子育て、教育について	9
6	就業について	10
7	男女の働き方と仕事と生活について	12
8	介護について	13
9	地域活動などについて	15
10	人権・男女間の暴力について	16
11	男女共同参画に関する取組みについて	18
	◇事業所	
1	業種について	24
2	従業員数について	24
3	管理職（現場の責任者や主任、班長など）について	25
4	育児・介護休暇について	27
5	セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントについて	28
6	事業所としての今後の取組みについて	29
7	男女共同参画社会について	29
III	資料	31
1	男女共同参画に関する意識調査表（個人）	
2	男女共同参画に関する意識調査表（事業所）	

I 調査の概要

1 調査の目的

南三陸町総合計画に基づき、性別に関わりなく互いの人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、町民と町内事業所の男女共同参画に関する意識の現状を把握し、今後の施策の参考とするために実施したものです。

2 調査の方法

- (1) 調査方法 無記名質問紙
- (2) 対象者 個人：平成22年5月末現在で、満18以上の町民1,000人
事業所：町内に事務所を有する従業員10人以上の事業所 100社
- (3) 抽出方法 無作為抽出
- (4) 調査機関 平成22年7月1日～平成22年7月20日

3 回収状況

- (1) 個人 回収数 424件
回収率 42.4%
- (2) 事業所 回収数 48件
回収率 48.0%

4 報告書の見方

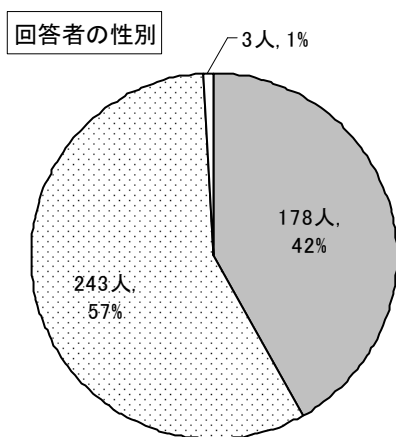
- ・図表における数値は四捨五入を基本としており、数値の合計が100%とならない場合もあります。
- ・複数回答の設問では、数値の合計が回答者（事業者）数を超えています。

II 調査の結果

◇ 個人

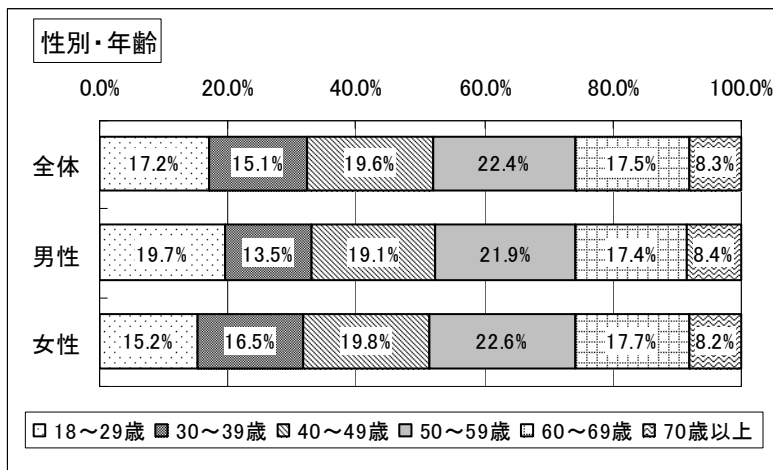
1 基本属性

問1 あなたの性別をおたずねします。



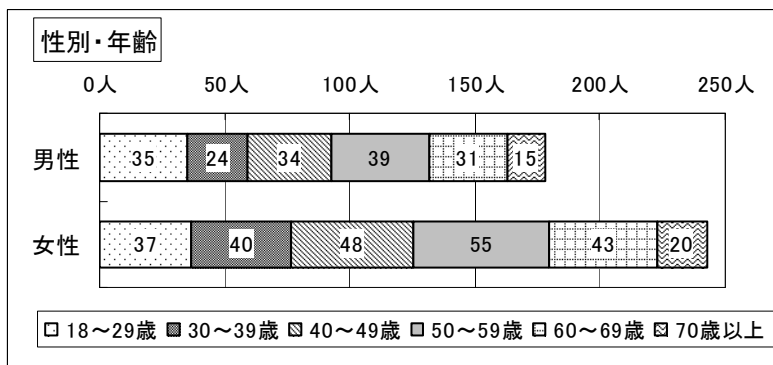
回答者424人の性別割合は、男性が42%、女性が58%となっています。

問2 あなたの年齢は次のうちどれですか。

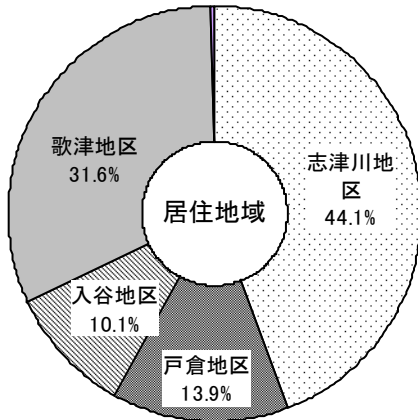


全体で「18歳～29歳」が17.2%、「30歳～39歳」が15.1%、「40歳～49歳」が19.6%、「50歳～59歳」が22.4%、「60歳～69歳」が17.5%、「70歳以上」が8.3%となっています。

男性、女性とも「50歳～59歳」の割合が最も高く、「70歳以上」の割合が低くなっています。

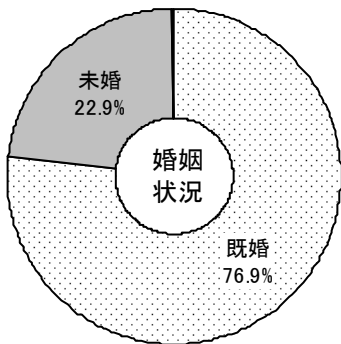


問3 あなたのお住まいはどちらですか。



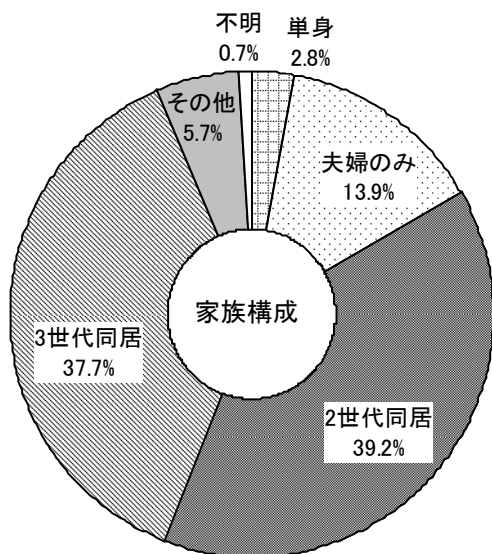
「志津川地区」が44.1%、「歌津地区」が31.6%、「戸倉地区」が13.9%、「入谷地区」が10.1%となっています。

問4 あなたは結婚していますか。



「既婚者」が76.9%、「未婚者」が22.9%となっています。

問5 あなたの世帯の家族構成についておたずねします。

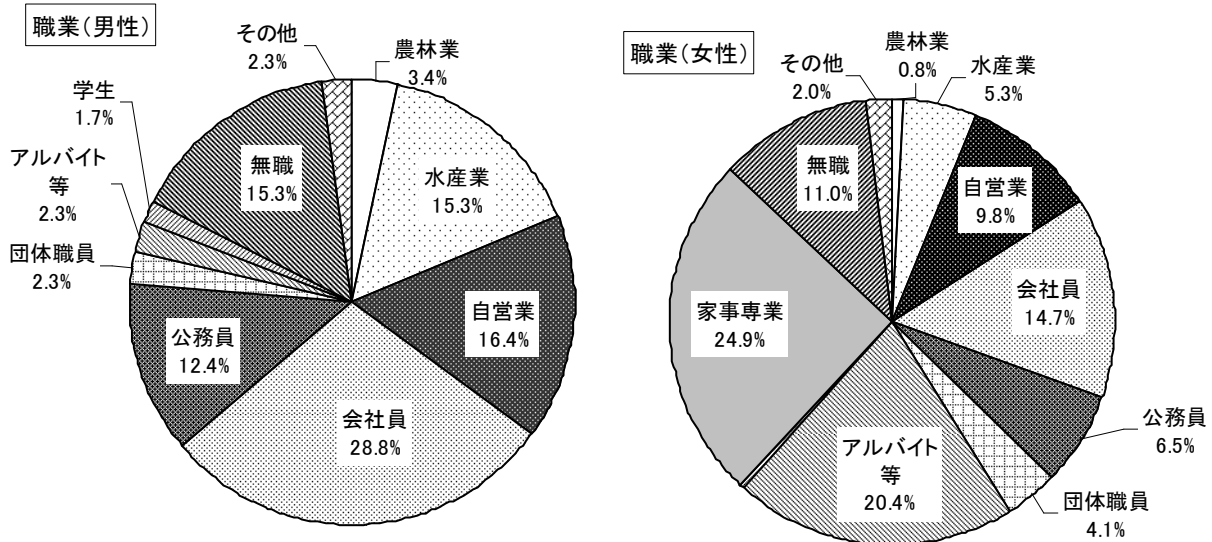


「単身」が2.8%、「夫婦のみ」が13.9%、「2世代同居」が39.2%、「3世代同居」が37.7%、「その他」が5.7%となっています。

問6 あなたの主なご職業をおたずねします。

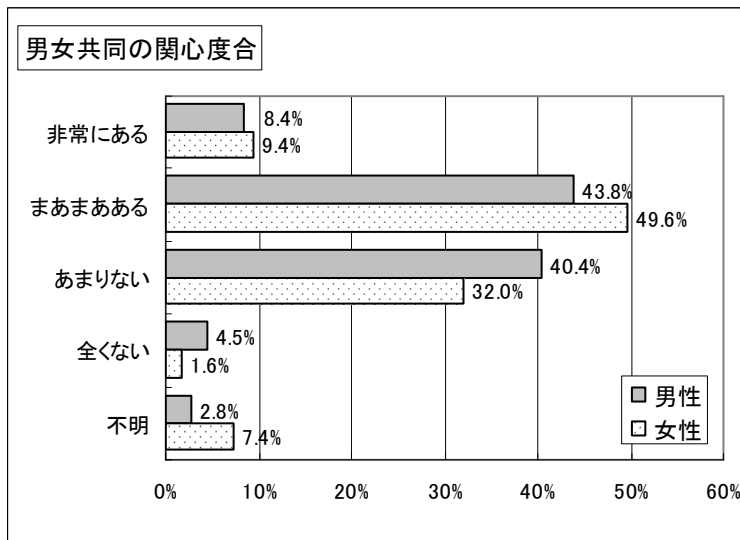
男性では、「会社員」が28.8%、「自営業」が16.4%、「水産業」15.3%、「公務員」が12.4%の順におおき、「無職」が15.3%となっています。

女性では、「家事専業」が24.9%、「アルバイト等」が20.4%、「会社員」が14.7%、「自営業」が9.8%の順に多くなっています。

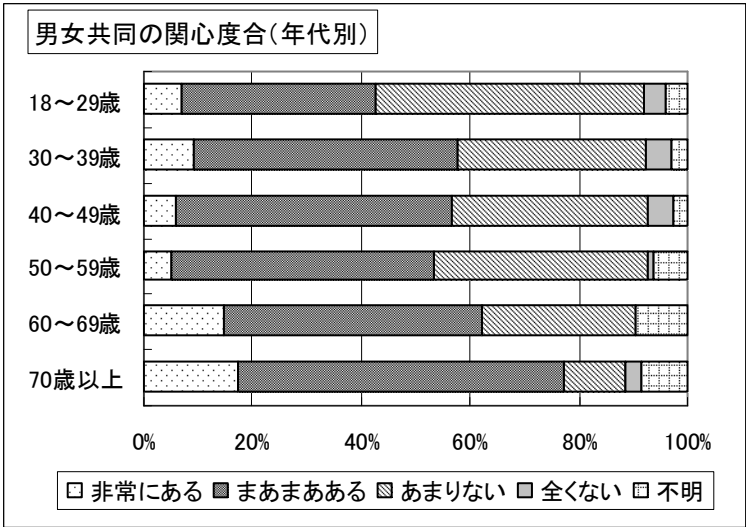


2 男女平等に関する意識について

問7 あなたは男女平等や男女共同参画をテーマにする話題にどの程度関心がありますか。

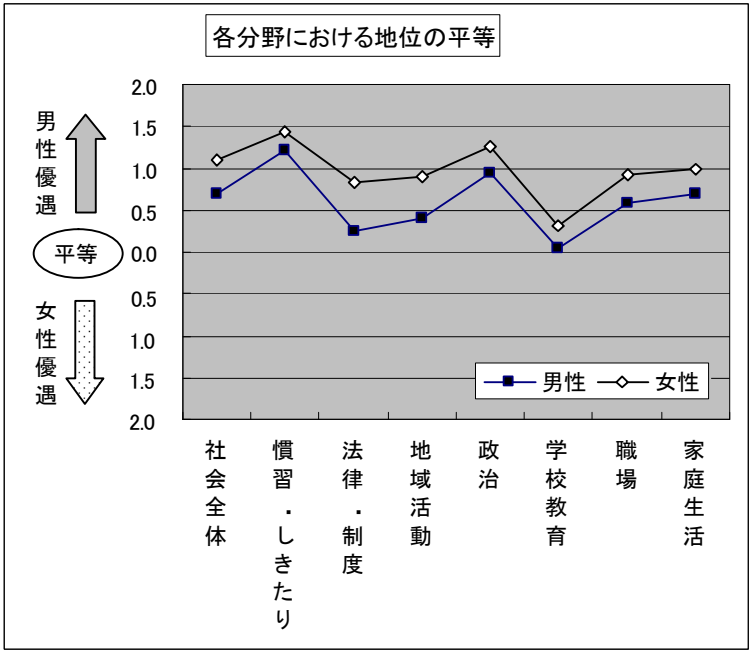


「非常にある」「まあまあある」といった関心の高さは男性が52.2%、女性が59%で、女性の方がやや高くなっています。一方、「あまりない」「全くない」といった関心の低さは、男性が44.9%、女性が33.6%で男性のほうが低くなっています。全体的に男性よりも女性の方が男女共同参画について関心が高いといえます。



年代別にみると年代が高いほど関心が高く、年代が低いほど関心が低くなっている傾向にあります。

問8 あなたは、次のような各分野での男女の地位が平等だと思いますか。



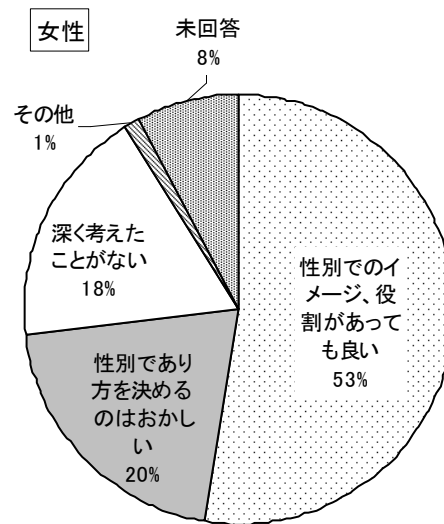
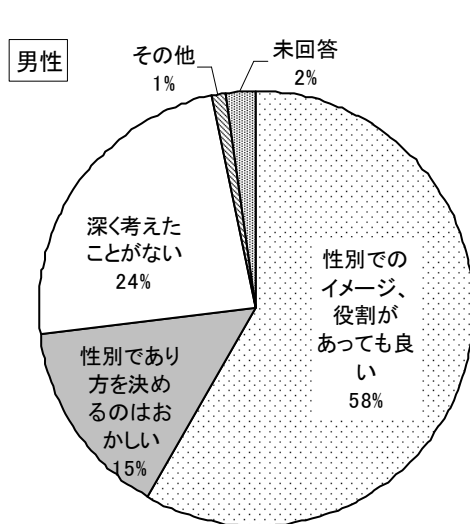
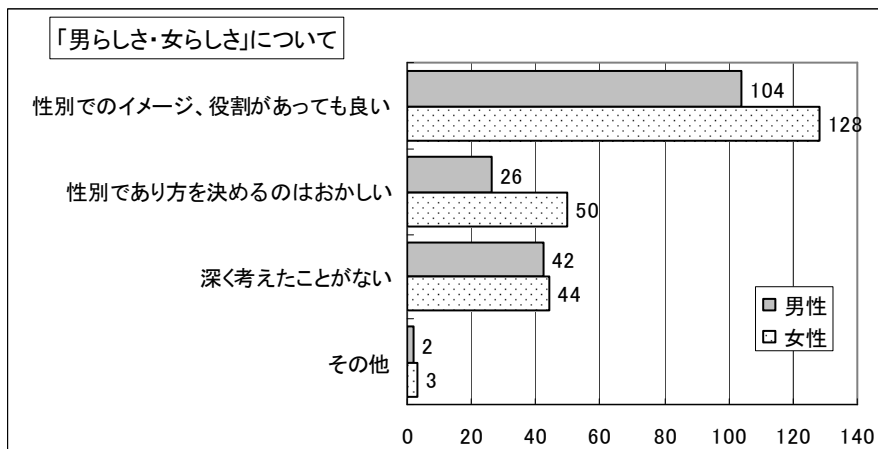
男性、女性のどちらも、どの分野においても男性の方が女性より優遇されていると回答しています。中でも「慣習・しきたり」「政治」「社会全体」での男性優遇が高くなっています。

問9 あなたは「男らしく」「女らしく」という言葉についてどう思いますか。

男性では「性別でのイメージ、役割があっても良い」が58.4%、「性別であり方をきめるのはおかしい」が14.6%、「全く考えたことがない」が23.6%となっています。

女性では「性別でのイメージ、役割があっても良い」が52.5%、「性別であり方をきめるのはおかしい」が20.5%、「全く考えたことがない」が18.0%となっています。

全体的には男女とも50%以上が「性別でのイメージ、役割があっても良い」と考えています。



3 結婚、家庭について

問10 あなたは、結婚、家庭についてどう考えていますか。

「結婚は個人の自由、個人の意思に任せる」については、男女とも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が多く、80%以上を占めています。

「女性は結婚したら家族を中心に考えるべき」については、男女とも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」で約50%となっていますが、男性の方が「そう思う」割合が高くなっています。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」については、男女とも「そう思わない」の割合が一番高くなっています。

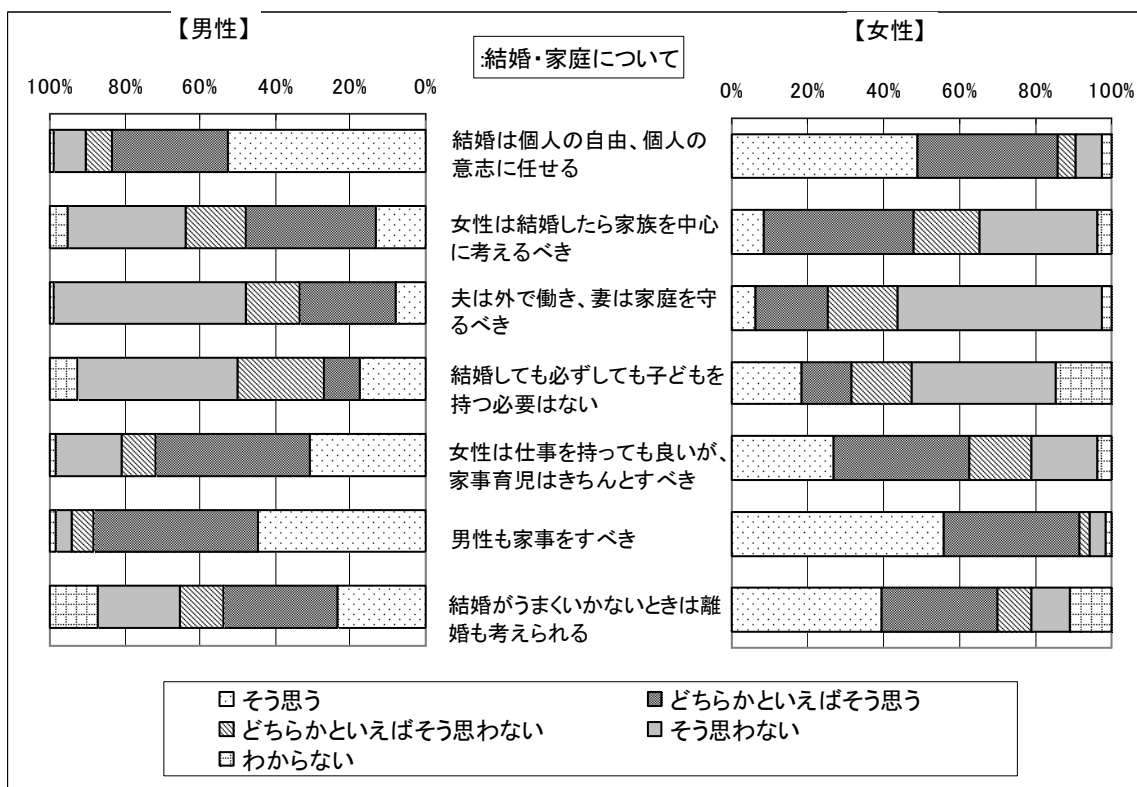
「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」については、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」を合わせた割合が高くなっています。「わからない」の割合は男性より女性の方が高くなっています。

「女性は仕事を持っても良いが、家事育児はきちんとすべき」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が男女とも60%を超えています。

「男性も家事をすべき」については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が男女とも90%前後となっており、なかでも「そう思う」と答えている割合は女性の方が高くなっています。

「結婚がうまくいかないときは離婚も考えられる」については、「そう思う」「そう思わない」を合わせた割合が、男性よりも女性の方が高くなっています。

この間全体では、結婚後の家庭生活について、男性が外で働き女性が家庭を守る、女性が働いても家事・育児をきちんと行うといった、男性は外で仕事、女性は家事や育児など家庭中心といった考え方が多い傾向にあります。

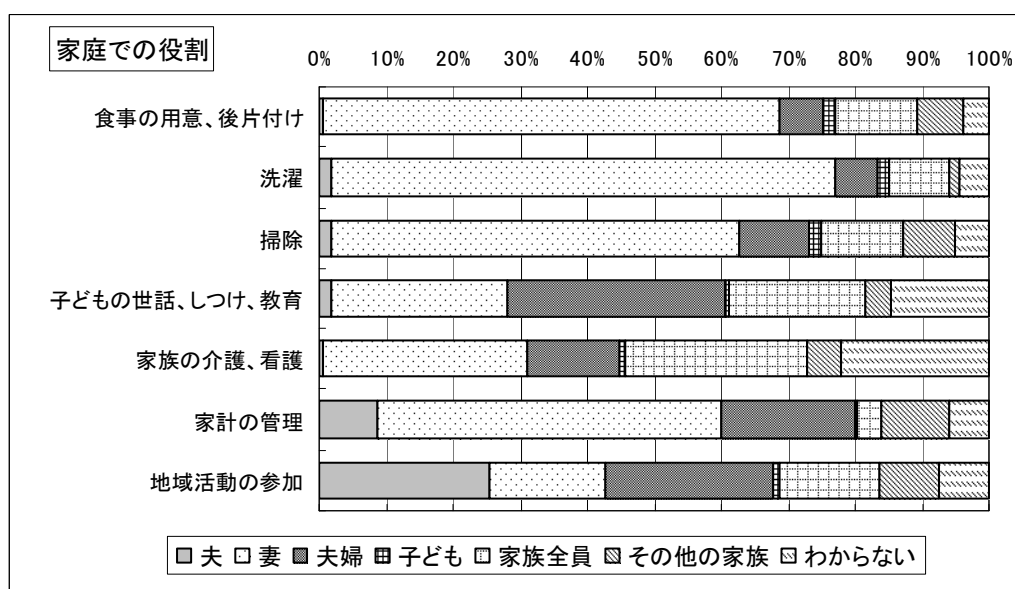


4 家庭での役割分担について

問11 あなたの家庭では、次のことは主にどなたが行っていますか。

「地域活動の参加」以外の家庭での役割については、夫よりも妻が主に行っています。中でも「食事の用意、後片付け」「洗濯」「掃除」は妻が行う割合が家族内の誰よりも圧倒的に多くなっています。前問で「男性も家事を行うべき」という問に対し、90%以上が肯定的な回答を行っていますが、実際には男性はあまり家事を行っていない状況にあるといえます。

また、「子どもの世話、しつけ、教育」「家族の介護、看護」「地域活動の参加」については、妻が行う割合が高いものの夫婦や家族全員で行うといった妻以外が行う割合も高くなっています。

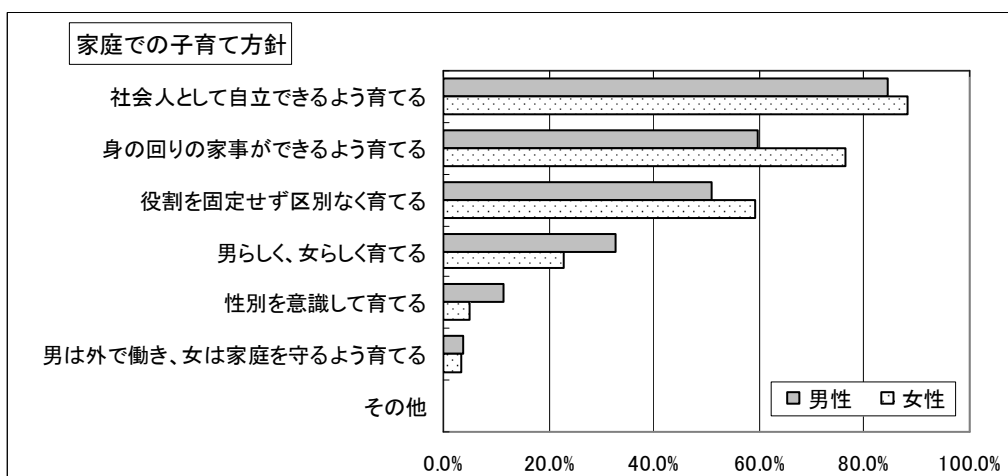


5 子育て、教育について

問12 あなたが家庭で子どもを育てる場合、どのように育てたいですか

男性、女性ともに「社会人として自立できるように育てる」「身の回りの家事ができるように育てる」「役割を固定せず区別なく育てる」の割合が高く、「男らしく、女らしく育てる」「性別を意識して育てる」「男は外で働き、女は家庭を守るよう育てる」の割合が低くなっています。

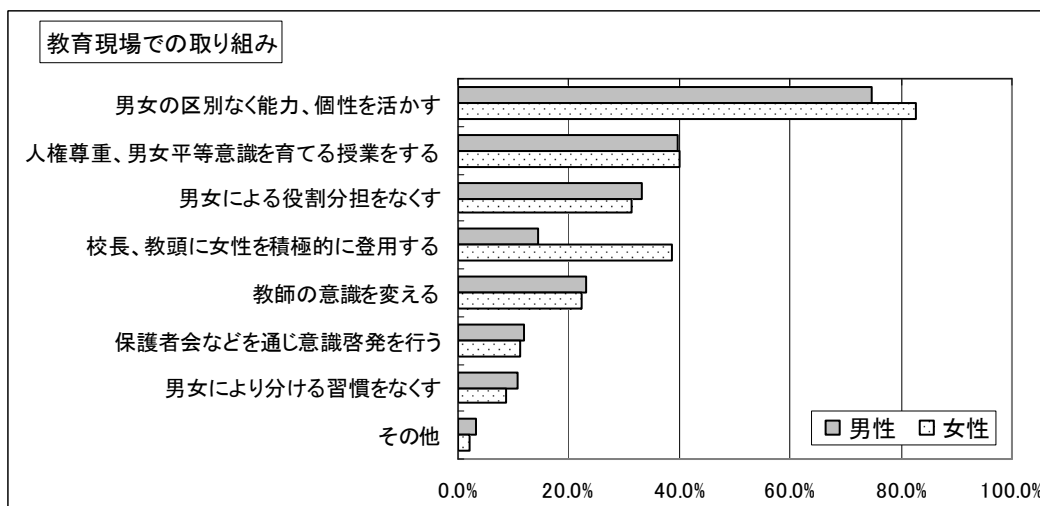
家庭での子育ては、男らしく女らしくといった性別を意識した子育てよりも性別を意識しない子育てを行う意識が高くなっています。



問13 男女共同参画社会に向けて、小学校や中学校などの教育現場において、取り組む必要があると思うことはどれですか。【3つ以内に○】

男性、女性とも「男女の区別なく能力、個性を活かす」の割合が一番高く、続いて「人権尊重、男女平等意識を育てる授業をする」の割合が高くなっています。

「校長、教頭に女性を積極的に登用する」については、男性が 14.6%に対して、女性が 38.7%と女性の方が女性の校長、教頭を登用することが必要だと思っています。

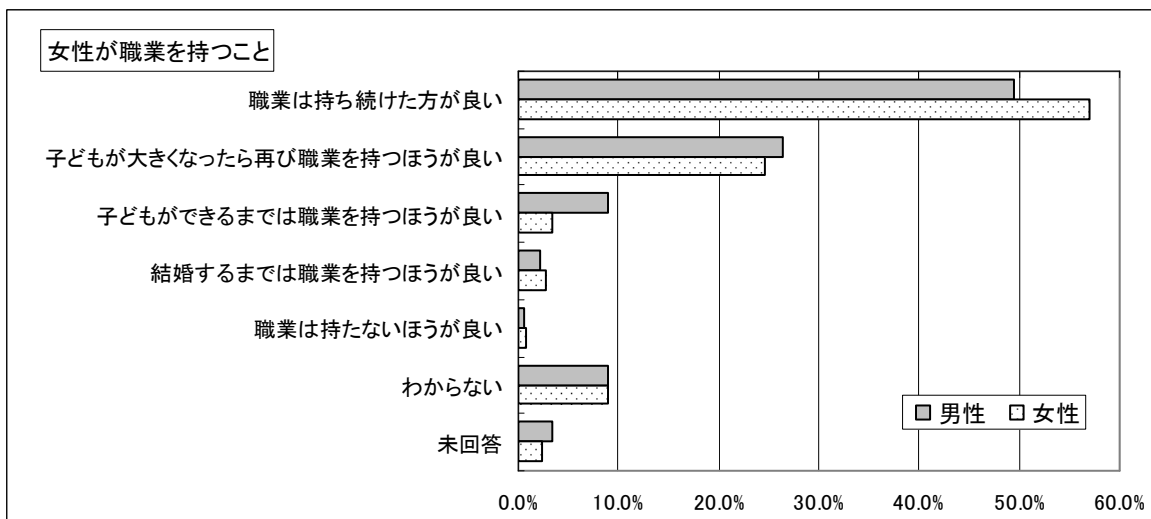


6 就業について

問14 あなたは、女性が職業（自営業等も含む）を持つことについてどう思いますか。

男性、女性とも「職業を持ち続けた方が良い」の割合が一番高く、続いて「子どもが大きくなったら再び職業を持つ方が良い」の割合が高くなっています。

男性よりも女性の方が「女性が職業を持ち続けた方が良い」と思っている割合が12.7%も高く、女性は女性が職業を持ち続けることが良いと思っています。

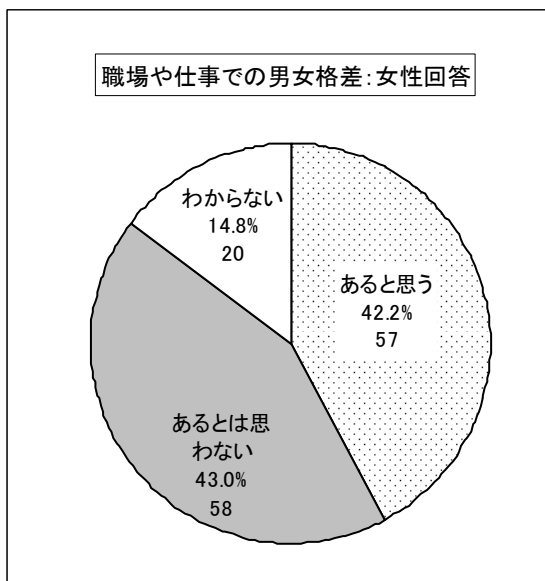
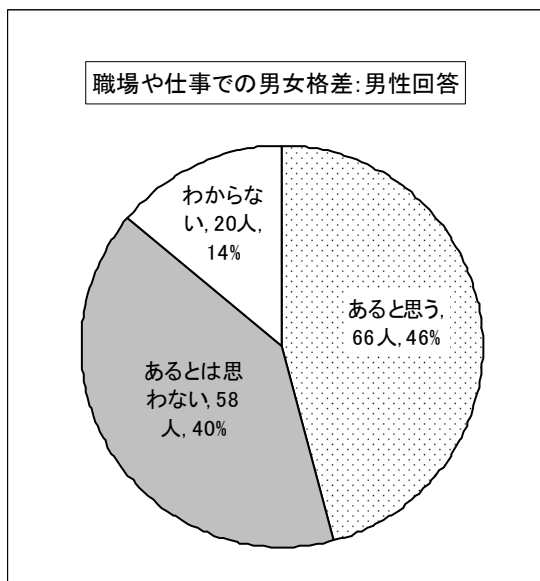


問15 今の職場で仕事の内容や待遇面で男女間での格差はあると思いますか。

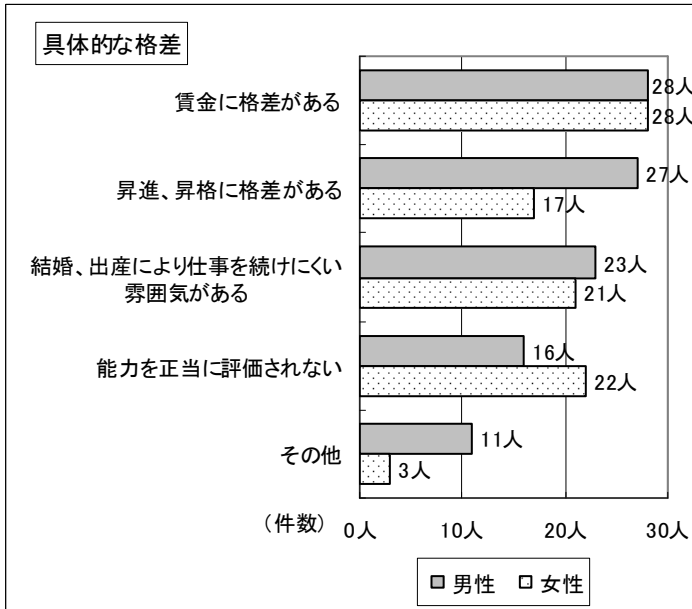
（現在、働いている方のみ回答）

「あると思う」は男性が45.8%、女性が42.2%となっており、「あるとは思わない」は男性が40.3%、女性が43.0%となっています。

男女ともに40%以上が職場や仕事での男女格差があると思っています。



問16 問15で「1 あると思う」と答えた方におたずねします。それは、具体的にどのようなことですか。



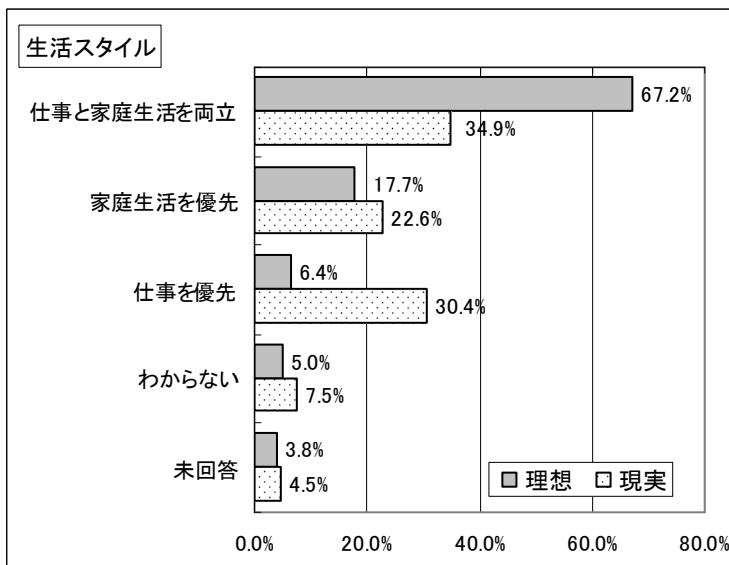
男性では、「賃金に格差がある」が26.7%、「昇進、昇格に格差がある」が25.7%、「結婚、出産により仕事を続けにくい雰囲気がある」21.9%の順に割合が高くなっています。

女性では、「賃金に格差がある」が30.8%、「能力を正當に評価されない」が24.2%、「結婚、出産により仕事を続けにくい雰囲気がある」が23.1%の順に割合が高くなっています。

7 男女の働き方と仕事と生活について

問17 あなたの生活スタイルの考え方に最も近いものはどれですか。

問18 あなたの現実（現状）に近いのはどれですか。

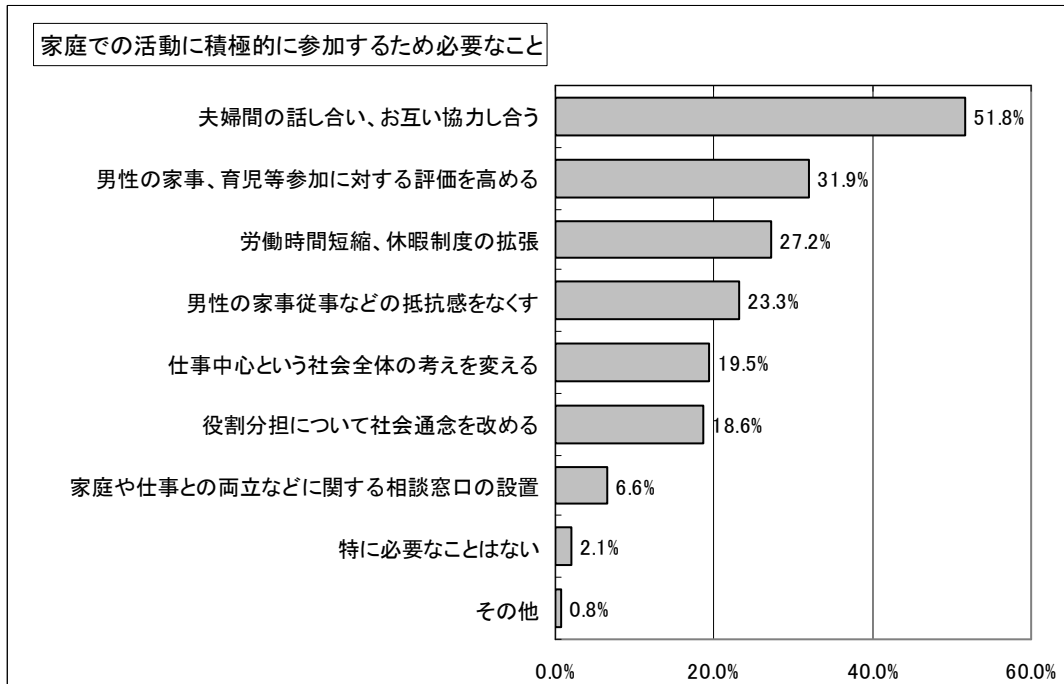


生活スタイルについて、理想としては「仕事と家庭生活を両立」が67.2%、「家庭生活を優先」が17.7%となっていますが、現実としては、「仕事と家庭生活を両立」が34.9%、「仕事を優先」30.4%、「家庭生活を優先」が22.6%の順に割合が高くなっています。

仕事と家庭生活の両立を理想としているもの、現実としては家庭生活や仕事を優先している傾向にあります。

問19 あなたは、今後、男女が共に家事や子育てなど家庭での活動に積極的に参加するためには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つ以内に○】

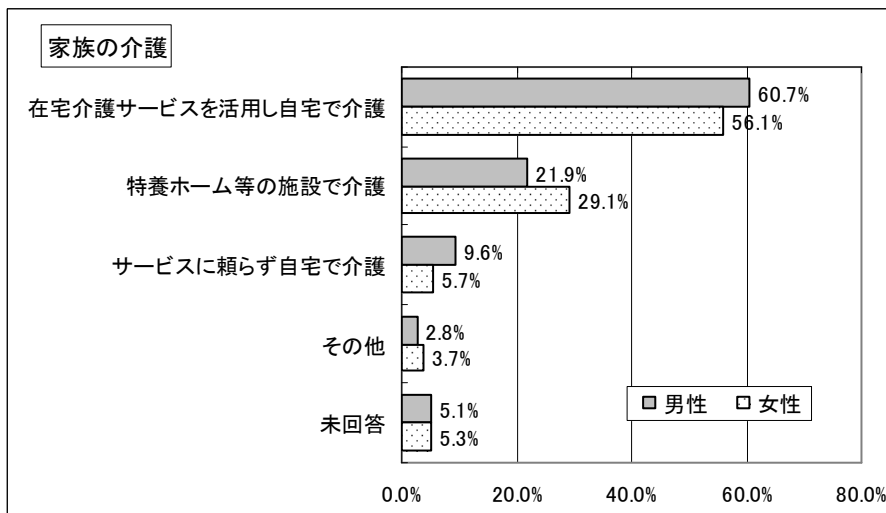
「夫婦間の話し合い、お互い協力し合う」が51.8%、「男性の家事、育児等参加に対する評価を高める」が31.9%、「労働時間短縮、休暇制度の拡張」が27.2%の順に割合が高くなっています。



8 介護について

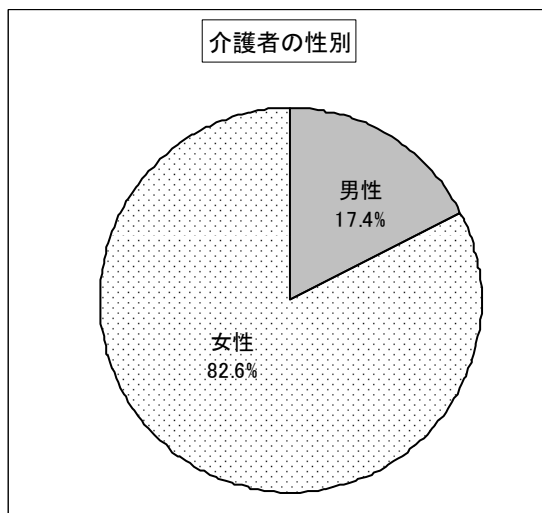
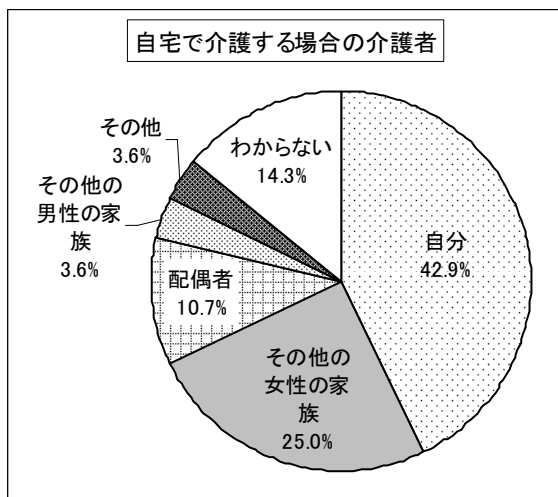
問20 家族の介護が必要な場合、あなたはどのようにしますか【していますか】。

男性、女性とも「在宅介護サービスを活用し自宅で介護」の割合が一番高く、男性が60.7%、女性が56.1%で半数以上を占めています。「特養ホーム等の施設で介護」、「サービスに頼らず自宅で介護」の順に割合が高くなっています。



問21 問20で「1 行政や外部のサービスに頼らず、自宅で介護したい(している)」とお答えになった方におたずねします。自宅で介護する(している)場合の主な介護者は誰ですか。

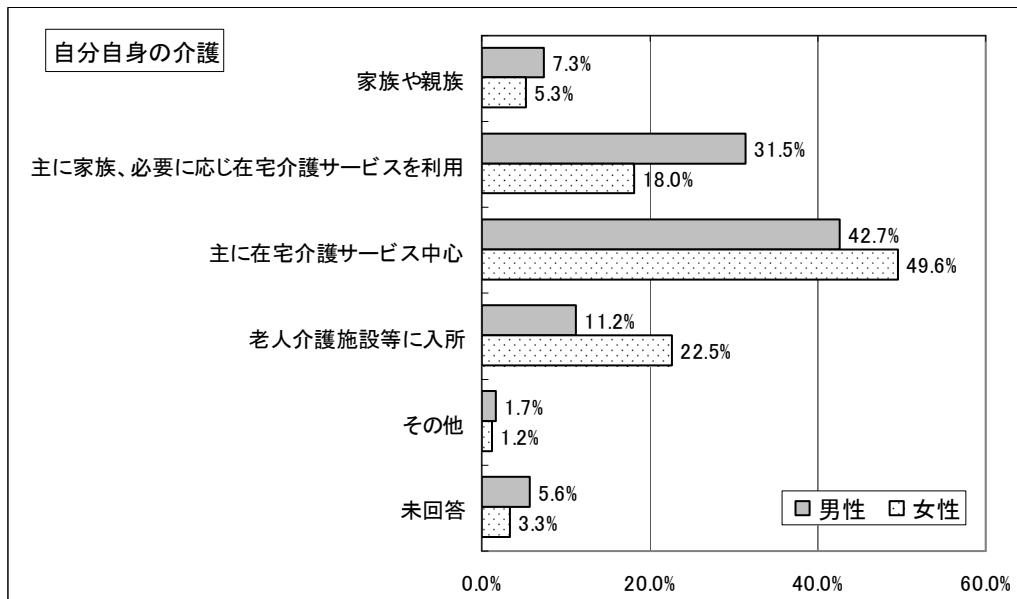
「自分」が42.9%、「その他の女性の家族」が25.0%、「配偶者」が10.7%の順に割合が高くなっています。回答者の性別から介護者の男女比を見てみると、実際に介護を行う(行っている)のは、男性が17.4%、女性82.6%と女性が介護者となっている割合が高くなっています。



問22 自分自身が介護をされるとしたら、どのように世話をしてほしいですか。

男性では「主に在宅介護サービス中心」が42.7%、「主に家族、必要に応じ在宅介護サービスを利用」が31.5%と割合が高く、女性では「主に在宅介護サービス中心」が49.6%、「老人介護施設等に入所」が22.5%の順に割合が高くなっています。

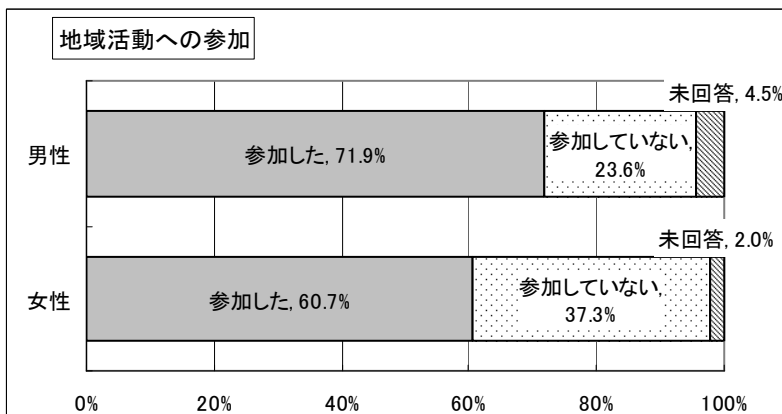
「主に在宅介護サービス中心」「老人介護施設等に入所」の家族に負担をかけない割合が、女性72.1%、男性53.9%と女性の方が高くなっています。



9 地域活動などについて

問23 あなたは、この一年間の間に仕事や家庭以外の地域活動等に参加しましたか。

男性の方の割合がやや高くなっていますが、「参加した」が男女とも60%以上となっています。

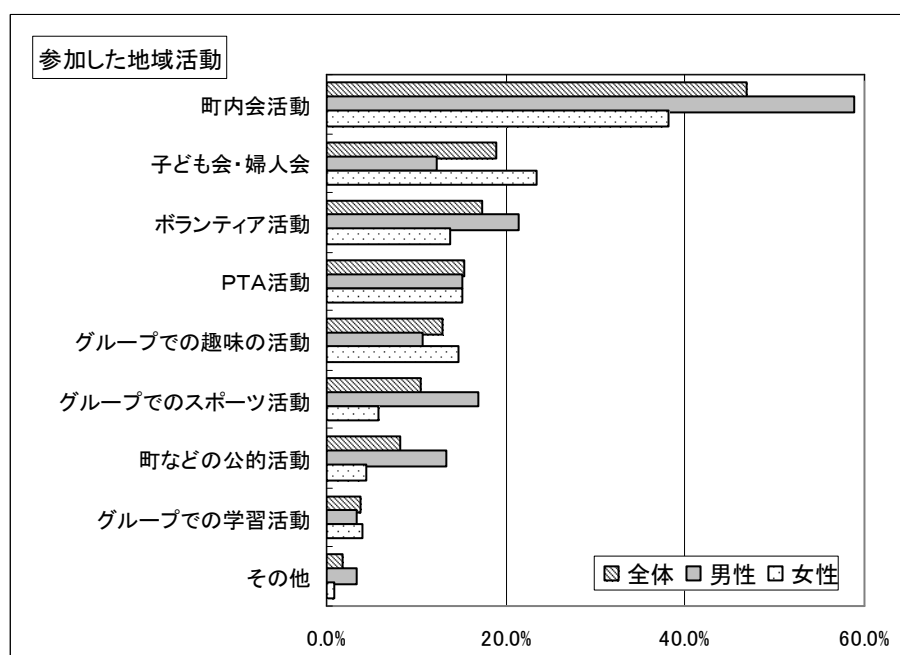


問24 それはどのような活動ですか。【あてはまるもの全てに○】

全体では「町内活動」が34.5%、「子ども会・婦人会」が13.9%、「ボランティア活動」が12.7%の順に割合が高くなっています。

男性では「町内活動」が37.9%、「ボランティア活動」が13.7%、「グループでのスポーツ活動」が10.8%の順に割合が高くなっています。

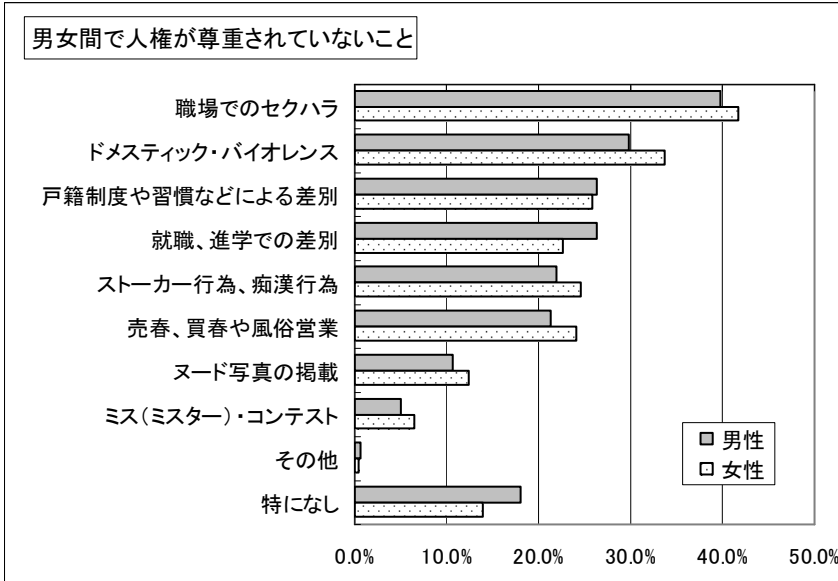
女性では「町内活動」が31.6%、「子ども会・婦人会」が19.4%、「PTA活動」が12.6%の順に割合が高くなっています。



10 人権・男女間の暴力について

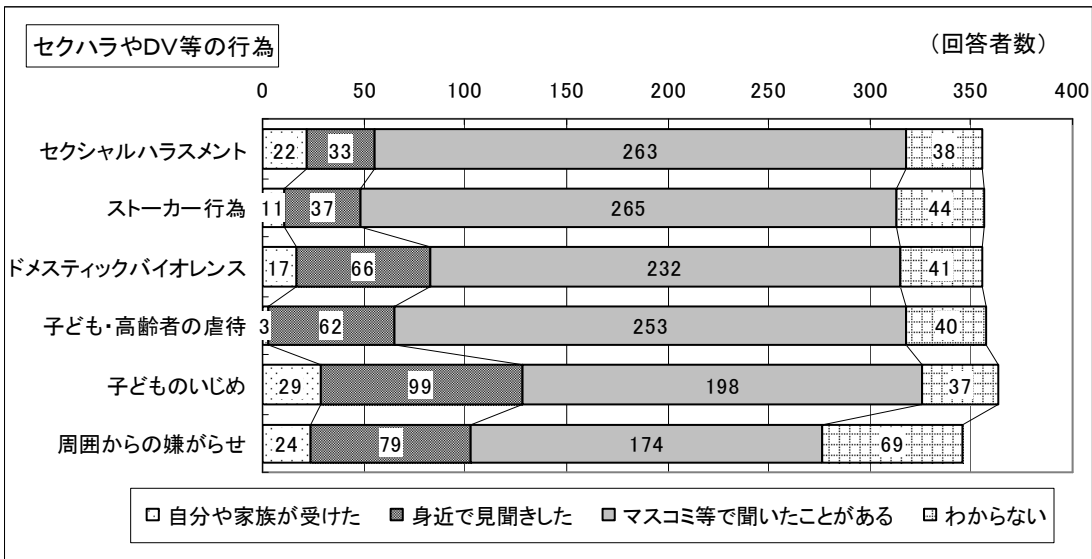
問25 あなたは、男女間において人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことですか。【あてはまるもの全てに○】

男性、女性ともに「職場でのセクハラ」、「ドメスティック・バイオレンス」、「戸籍制度や習慣などによる差別」の順に男女間における人権が尊重されていないと感じています。

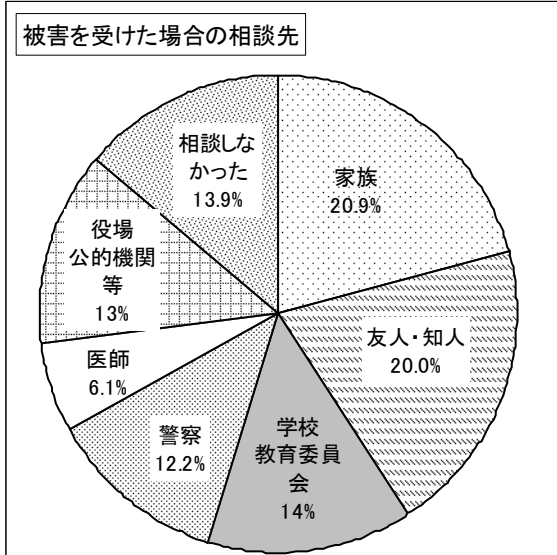


問26 あなたは、次のような行為を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか。【あてはまるもの全てに○】

ほとんどの回答者が、セクハラやDV等の行為をマスコミ等から聞いて知っていたほか、どの行為においても「自分や家族が受けた」「近所で見聞きした」という回答があり、決してセクハラやDV等は他の地域の問題ではないということがいえます。



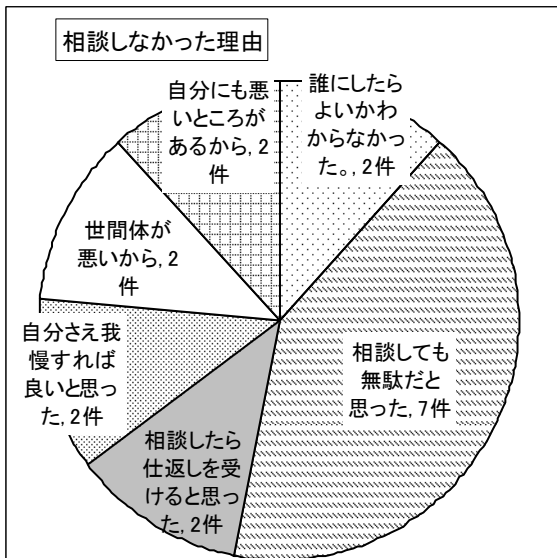
問27 問26で「自分や家族が受けた」に○をつけた方におたずねします。あなたは、そのことを誰か打ち明けたり、相談したりしましたか。



セクハラやDV等の被害を受けた場合の相談先として、「家族」が20.9%、「友人・知人」が20.0%、「学校・教育委員会」が14%の順に多くなっています。しかし、被害を受けたと回答した方のうち、13.9%の方が「相談しなかった」と回答しています。

問28 問27で「どこにも相談しなかった」に○をつけた方におたずねします。どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。

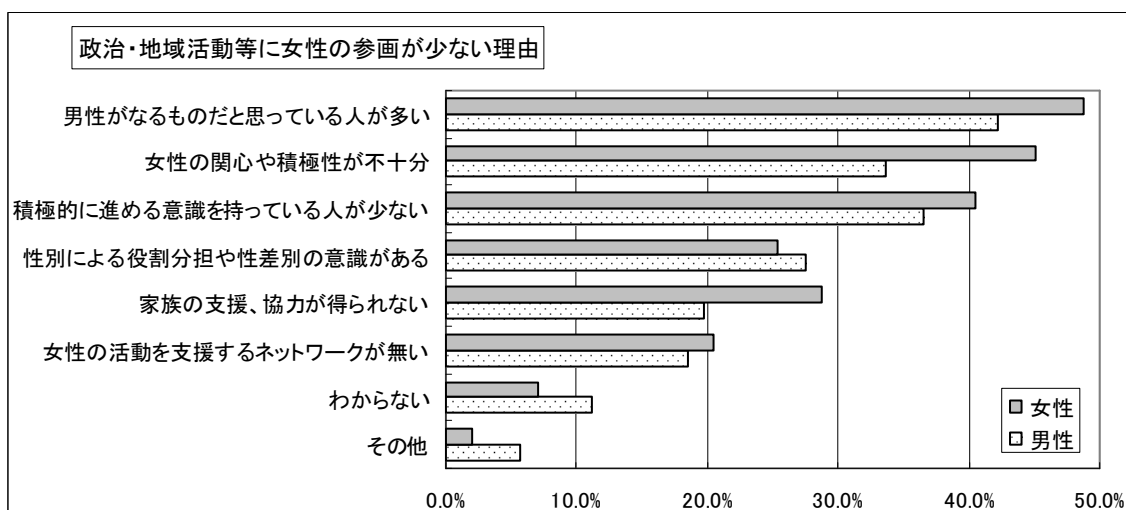
「相談しても無駄だと思った」が41.2%と一番多く、それ以外の回答が11.8%となっています。



1 1 男女共同参画に関する取組みについて

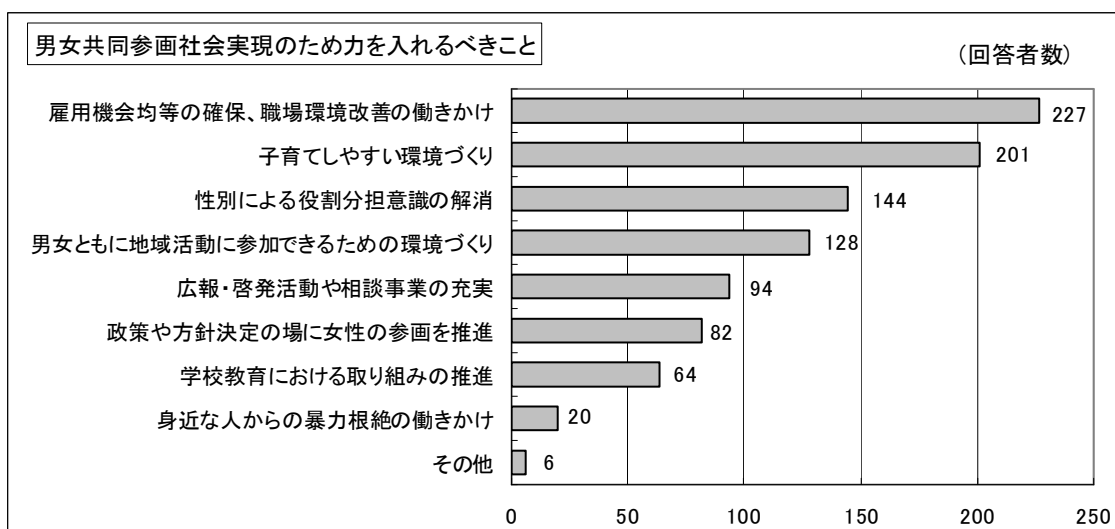
問29 国、県、町における政治の場や町内会などの地域活動での方針決定の場に女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。【3つ以内に〇】

男性、女性ではともに「男性になるものだと思っている人が多い」「積極的に進める意識を持っている人が少ない」「女性の関心や積極性が不十分」の回答が多くなっています。家族からの協力や女性の活動を支援するネットワークといった外からの要因というよりは、これまでの慣習などによる意識が大きいと思われます。



問30 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、南三陸町ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。【3つ以内に〇】

「雇用機会均等の確保、職場環境改善の働きかけ」「子育てしやすい環境づくり」「性別による役割分担意識の解消」の順に回答が多くなっています。就業に関することや子育ての環境についてなど、実生活に近い部分での関心が高くなっています。



【自由意見】

- ・ 性別という言葉どおり男と女では体格、考え(思考)など違うことが当たり前で、「共同参画」という言葉自体が前面に出ることは賛同できません。(30代・男性)
- ・ 文化歴史面からも、共同よりも区別してきた方が良いと思われれます。(30代・男性)
- ・ 「男女」という男が前、女が後ろの言葉を使っている時点で「共同参画」の根本的な考えのベクトルがずれていると思います。(30代・男性)
- ・ 男の人も女の人も、それぞれの良いところを生かしてより良い社会を作っていくことができれば良いと思っています。(20代・男性)
- ・ 体の具合が悪い人もいるだろうし、消極的な人もいるだろうし、見るだけでいいとか無関心な人もいるだろうし、それぞれの考え方でいいと思う。介護するもされるも、経済的な余裕がなければ何も利用できない。(50代・女性)
- ・ 女性が仕事をしやすくしてほしい。(30代・女性)
- ・ 保育料が高いため、パートをしてもほとんどが保育料を支払うと無くなってしまいます。収入によって保育料が決まりますが、住宅ローンなどがある人にとってはきついなと思う。(30代・女性)
- ・ フルタイムで働きたくても働けない人がいると思う。待機児童のことを考えても、保育所を増やすなどして、対応していただきたい。(30代・女性)
- ・ いつまでも、母親は家で育児と家事をするのが当たり前だと思う人が多いことが悲しいです。(30代・女性)
- ・ 最近は男女共同の場面が多く見かけられるようになったと思う。例えば「男子厨房に入らず」の年代に育った私、現代の若い人達が台所で仲良く調理したり、後片付けしたりしている光景を見かけると微笑ましく感じ取っている。狭義の場面においては男女共同の場が多くなったのではないのでしょうか。(70代・女性)
- ・ 町政発展のため今後続けたほうが良いと思います。(60代・男性)
- ・ 無理にやる必要はないと思う。(30代・男性)
- ・ 女性の全部がそうありたいと思っている訳でもないと思う。とりえず積極的な女性を伸ばしていくことで他の女性も興味を示すのではないかと。(30代・男性)
- ・ 男性の「女性より上なんだ」みたいな考えを町職員から変えていかなくてはならないと思う。(30代・男性)
- ・ 男女ともに尊重しあえば良いと思う。(30代・男性)
- ・ 男女ともに意識の改革が必要。(20代・男性)
- ・ 従来からの慣わしやしきたりは、田舎ほど強いのではないかと感じています。しかし、女性は今では仕事を持っている人も少なくありません。その中で、従来からの慣わしやしきたりが続いているということは、女性は家でも外でもずっと働くことになります。このような考え方、きめつけをなくしていくためにも、幼少期のころから教育していく必要があると考えます。(30代・女性)
- ・ 離婚の数も多くなっていると思いますが、その要因には、男性の家庭参加の希薄もあると考えます。家事育児は女性の仕事と決めつけるのはおかしいと思います。法律上だけの男女平等は、何の意味もないと思います。育児休暇ひとつとっても、取得するのは女性ばかりです。社会全体で男性が家庭で起こっていることに女性と同じ位、参加できる社会になってくれると嬉しいですし、このような社会こそが、みな幸せと思える社会なのではないかと考えます。(30代・女性)

- ・今の社会は、女性の負担が大き過ぎます。社会全体で考えて欲しい問題です。(30代・女性)
- ・いつも女性が行っているようなこと(育児、家事等)を男性に体験してもらうような企画をすとか、実際に女性の役割を再認識できるような企画をし、考えてもらうのが良いのでは。(30代・女性)
- ・例えば、消防団員が不足している今、女性も募集したらどうか。消防士に女性もいる中、消防団員も男女でやるべき、そのための環境、仕組み作りをお願いしたい。また、実際の現場で消防士や消防団員の活動に支障がない程度で地域の婦人防火クラブの皆さんにも出動してもらえる仕組み作りもお願いしたい。将来的に、女性の消防団員、団長、副団長の誕生を期待したい。もちろん、女性の南三陸町長、副町長も。(40代・男性)
- ・町の管理職にもっと積極的に女性を登用すべきです。「女性の〇〇課長」、そのためにも個々のスキルアップは必要不可欠ではないか。「女性職員の人事交流」「女性の交通指導隊長」(40代・男性)
- ・すべてにおいてネットワークが不十分。少数の人々に決定権があるような行動が多く見られます。感情を入れずに冷静に物事が判断できる人材がいればこの町は変わると思います。特に女性、もっと深い教養を必要とするのかは？部落自ら選考するのではなく、無差別に選び、多くの人々と係わり合い講義を受けるとか。人間の尊厳や人権尊重などを学んで行き、そこから人と人のネットワーク作りに結ばれば良いのではないかと思います。(50代・女性)
- ・小さい単位でいえば、夫婦は男女共同参画の一つでなければ家庭は成り立たない。夫婦は形は違えど一見不平等に見えても平等であると考えます。(60代・女性)
- ・男性は、社会においても優位な立場にいるべきだと思いますし、責任もあるべき。土台、男と女は思考経路が違うのではないかと思います。中には、男性を凌ぐ優秀な女性もいますが、何をしても男性に勝るといふ女性はいないような気がします。特殊な職業(例えば医師、看護師とか)には、女性の方が勝っている方が結構いるようですが、いくら「カカア天下」といえども、やはり男性の方が勝っていると私は思います。(60代・女性)
- ・男女共同参画社会の実現の意味と目的が解せません。女性蔑視の文化は日本古来のものであり、それなりに女性は生きてきたのだと思います。弱さを利用しての職業も多くあったと思います。例えば「赤線」が市川房枝議員の提言により廃止となり、誰が一番喜んだのでしょうか。市川さん達のようなインテリ女子だけではないでしょうか。「赤線」で働いていた女性も立派な職業人であると私は考えます。ただし、私個人はその職業は嫌いですし、なれませんが。男女共同参画社会とは、一体何なのかわかりません。女性は、できるなら仕事を持たずに子育て、家事に専念できる社会になってもらいたいのが私の夢です。(60代・女性)
- ・男女共同参画は南三陸町に在住しては絶対に無理。仙台市では女性が地域活動に参加しようとすると託児付きなことが多く、安心して物事に取り組めるが、南三陸町では「託児付き」という行事ははなく、PTA行事(バレーボール大会等)ですら「小さい子供はできるだけつれてこないで」といわれる。(夫は仕事のため、不在気味なので常に子供を連れて行かないといけない)(30代・女性)
- ・性差があり、しかも地方なため、祖父母も「母親が子供の面倒を見るのが当たり前」という考えの世界で、どうやって男女共同参画、男女平等にするのか、こちらが聞きたい。祖父母を教育しろと言いたい。(30代・女性)
- ・南三陸町に関しては、男女共同参画というより現実に仕事がないというのが現状です。夫婦共稼ぎが当たり前になっています。共同参画というより生きること、生活することが前提です。あまり、町民の生活がわかっていないのでは。(30代・男性)
- ・ジェンダーフリーが絶対ではないと思う。性別による区別は必要。(50代・男性)

- ・仕事を退職してからは、町内の行政、行事等の情報がほとんど知ることができず、広報等で終わってから知ることが多い。一部の人達が色々な団体に加入しているが、活動への呼びかけが無い様に思う。また、地区に何かしらの世話人がいるが、その人達は十分に地区の人達に情報を出しているのだろうか。(50代・女性)
- ・男女平等になってきたとはいえ、最近男性よりも女性の方が目に余る行為、行動をとっている場面を目にすることがあります。確かに女性は強くなりました。「女は弱し、されど母は強し」といわれた時代がありましたが、今の時代は「女は強し、さらに母はまた強し」では草食系男子が多くなってきている世の中、何かミスマッチが起きているような気がしてなりません。そこで、これからの教育の中で女は女らしく、女性としての本当の優しさを教え伝えて欲しいと思います。(70代・女性)
- ・今の南三陸町には病院の先生不足、毎日の診療科でも常にいる先生をつけて欲しい。佐沼の病院だ、気仙沼の病院だと、小さな子どもを連れて歩くのは困難です。立派な病院がありながらもつたいないことをしています。公務員以外の仕事の人達の給料が下がっていること、年々、働く人の給料が減り、引かれる部分が多いのはどうしてでしょうか。子どもがいると働けないし、気軽に頼める託児所がありません。老人も引かれている部分、ちゃんと自分に戻ってくるのでしょうか。(30代・女性)
- ・形だけのアンケートに無なりませんように、いろいろな意見を取り入れられる頭の柔らかい町づくりをお願いします。(30代・男性)
- ・地域全体に男女差別が残っている限り、女性が地域活動に参加したところでなんら変わりはない。そもそも、家庭内での男尊女卑がまだ生きている。都市部でキャリアを積んできたものとしては、地域の「男尊女卑」は耐え難いものがある。仕事(企業)の面接を受けた時も「セクシャルハラスメント」に近い質問を受け、非常に不快な思いをした。(40代・女性)
- ・まだまだ男性は仕事を、女性は家庭をという意識が根強い年代ですが、自分の子どもたちの世代にはそれが薄れ、個々の適正を大切に考えるようになってくると思われれます。これから親の介護が必要になってくるにあたり、家庭内で十分に話し合い、協力し合っていければと思います。(50代・女性)
- ・もっと様々分野で女性を活かして下さい。特に60代は仕事も一段落し、充実した時間を利用できるし、家事が忙しくとも何かに関わっていると生活にメリハリもあると思う。女性の知恵を活かしてください。(60代・女性)
- ・少数、極端な差別への対処に腐心するようではあって欲しくない。(どの道、消えない場合が多いため)一般的家庭において、環境を向上させるような取り組みに期待したい。(20代・男性)
- ・勉強不足なのでよい言葉が出ません。町内一緒に研修会を持ってもらいたい。良い課題を作ってもらいたい。町全体で行うことを希望します。努力が見られます。(60代・男性)
- ・南三陸町では、比較的、地域、町内会等の地域活動の場においては、女性の参画が多いと思う。(60代・女性)
- ・女性は子育てしながら仕事をするのは負担が大きいので、社会全体で支えて欲しい。保育所や学童保育などを町でもっと整備して、予算をつけていただきたい。(60代・女性)
- ・男女共同参画にこだわること自体がおかしい。何もなくて良い。(40代・男性)
- ・男女平等など、全部を同等と考えたり、押し付けることは問題だと思う。男女共同参画も取り組みやアピール等は良いと思うが、決定により強制的なものになることの無いように。(50代・男性)
- ・現実的にはかなり難しいと思う。男性は男らしく男の役割、そしてできること、女性は女らしく女の役割、そしてできること、自分が与えられた性を個人が考えないと男女共同参画の場が実現しても、内容は男女平等の言葉に

とらわれて話は進まないのではないかと思う。(40代・女性)

- ・ 男女共同参画ということは、今まで特に気にしたことはありませんでした。社会生活においては女性が優遇されていることが多いと思いますが、これは別に差別ではないと思います。男性には男性にしかできないこと、女性には女性にしかできないこと、というのはたくさんあると思います。できることをみんなで力を合わせてやればいいのだと思います。あまり性別にとられることはないと思います。(20代・女性)
- ・ 若い世代の方々が考え方を向上されている様子が見受けられるので、だんだんと変わっていくのではないのでしょうか。(50代・女性)
- ・ 異性の気持ちをお互いに理解し合い、過去の反省をしっかりと受け止めて、より明るく、より楽しく生きられるよう聞く耳を持ってあげられる社会を指導して欲しいと思います。できる範囲でよいので個性を大切に。(30代・女性)
- ・ とてもよい調査だと思います。私は志津川に住んで5年目になりますが、住民の方は外へ出た経験の無い人が多く保守的です。結果が出たならば行政の方から積極的に意識を変えるよう、指導するようお願いします。(70代・男性)
- ・ 夫婦で養殖業をしています。90歳を過ぎた姑の世話をしたり又地域のボランティア、友達との趣味のガーデニングをちょっとやっております。海から帰ってからの食事作り、風呂、その他いろいろと結構忙しく毎日動いています。でもあんまり気にしません。時期的に忙しいときにはホームに頼み、普通はデイサービスセンターを利用して頂いています。これが当たり前だと思っているからです。でも60歳の声を聞くと、このごろ体が言うことを聞いてくれないこともあり主人に当たってしまう時も多々あります。主人もご飯の準備、後片付けも少しずつ手伝うようになりました。主人は、男は台所に立つもんじゃなと思ってた人なので。でも息子たちがたまに帰ってきて、「お父さん、少しお母さんを手伝ったら」との一言が聞いたみたいです。(50代・女性)
- ・ ただのアンケート？国・県が行おうとしているからの資料？ではだめですので、担当者には頑張ってもらいたいです。行政マンは企画、立案がなされておらない、前年度事業並では町民はどうすればよいか。全てにおいてもっと真剣に考えなければいけないと思う。(60代・男性)
- ・ どうして、今頃アンケートなのか不明でなりません。1999年になっているのに、また地域柄もあると思います。男女共同参画盛ってのほかかと思っている人も入ると思います。町民の皆さんが男女共同参画を知っているか不安です。(40代・女性)
- ・ 明るい地域社会を創るために当町では他にはない町民一体となった町づくりを願います。(40代・男性)
- ・ 女性の参画が少ないとは思わない。(50代・女性)
- ・ 社会活動に参加したくても小さな子どもをみてもらえない状況にあるので、なかなか出られない。夫や義両親の借りずとも気軽に子どもをみてもらえる託児施設を作してほしい。(30代・女性)
- ・ 共同参画に関する講演会や連絡勉強会(他から講師を呼ぶ)を実現してほしい。女性講師による講演会が少なすぎる。(60代・女性)
- ・ 現状では女性の参画機会が少ないのは確かな現実。この状態で「男女共同」を進めても、男と女の差は進まないで、「女性を意識」した進め方をしていく必要があると思う。(30代・男性)
- ・ 実際に企画が目に見えていない様に思う。これからの活動を見ていきたい。(50代・男性)
- ・ かつての日本は、男は外で、女は家で仕事するという習わしだった。時代が進むにつれて、女も外で活動する

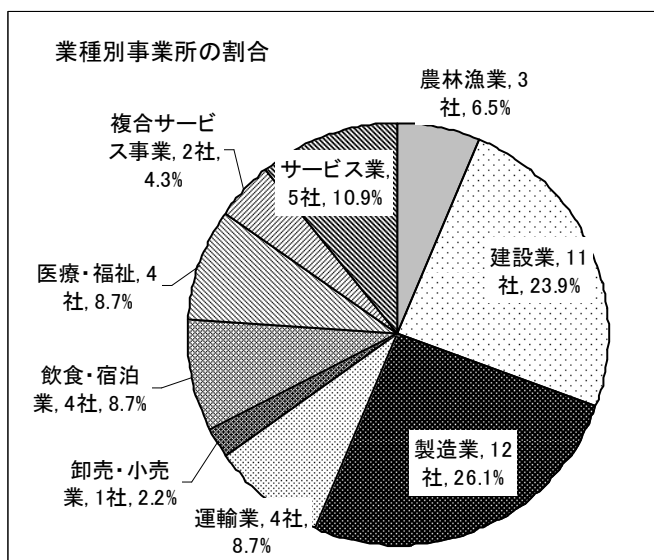
機会が増えてきたのが今の時代である。しかし、仮に今回の共同参画というもについては、社会が「女をもっと社会に参加すべき」と言う人もいるが、果たして女という人間全員がそう思うのだろうか。社会がその枠組みを作ったとしても、最も大事な「女」という人間、つまり枠組みの中身になる人が、自立的、積極的に参加するか、能力があって組織に入るかで、結局見せかけだけのものしかならないと思う。大事なものは、男か女ではなく、性別をなくして「人」として、能力があり人間として社会参加できるかどうかということだと思う。「もっと女性の権利を大事にしろ」と言う人もいるが、その本人は何ができて女の方だけのことしか考えていないのではないか、男だ、女だと言って時点で、個人の考え方や行動力を失っているのではないか。失っている人間が多すぎるから、社会が環境を整えてやるというのは、如何せん、無意味なことであると思われる。男は家事を、女は外でというのも、その家族間の問題だと思うし、行政等口出しすべきことではないと思う。こんなことをしているヒマがあるのならば、もっと地域での生活優遇、住みやすい県、町にするべきことが、多々あるというのに実に悲しく、無意味なアンケートだと思う。(30代・男性)

- ・ 男女に関係なく、やる気のある人が進んで取組めばよいと思う。(30代・男性)
- ・ やはり古くから社会通念があるように思いますが、女性側の方が男がやるべき事を押し付ける事の方が多いような気がいたします。どちらも積極的に行動する事が大事だと思います。また、このような場合、積極的な態度と威圧的な態度を勘違いなさる方がいらっしゃいます。是非とも役場職員の皆様には行政サービスを通じ、お手本となるような行動(言動)をお願いいたします。(40代・男性)

◇ 事業所

1 業種について

問1 業種についておたずねします。【該当するものに○】



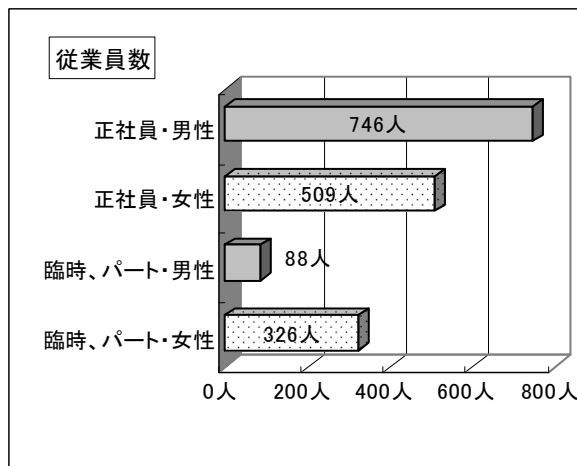
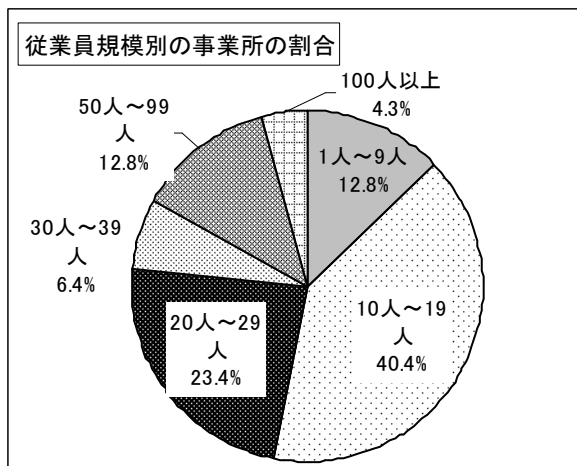
回答のあった事業所の業種は、「製造業」26.1%、「建設業」23.9%、「サービス業」10.9%の順に割合が高くなっています。

2 従業員数について

問2 従業員数をおたずねします。

従業員規模は、「10人～19人」が40.4%と一番割合が高く、「20人～29人」が23.4%、「1人～9人」「50人～99人」が12.8%の順になっています。

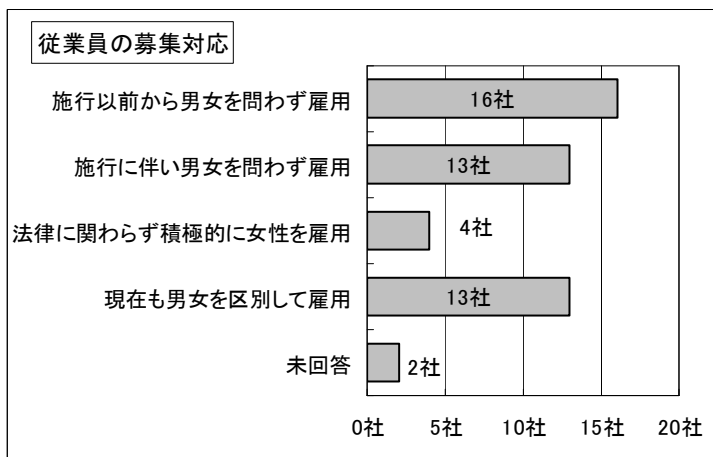
従業員数のうち男性、女性ともに「臨時、パート」よりも「正社員」の方が多くなっていますが、女性の方が「正社員」に対して「臨時、パート」の割合が高くなっています。



問3 貴事業所では、従業員の募集・採用に際して、男女の別についてどのように対応していますか。【該当するものすべてに○】

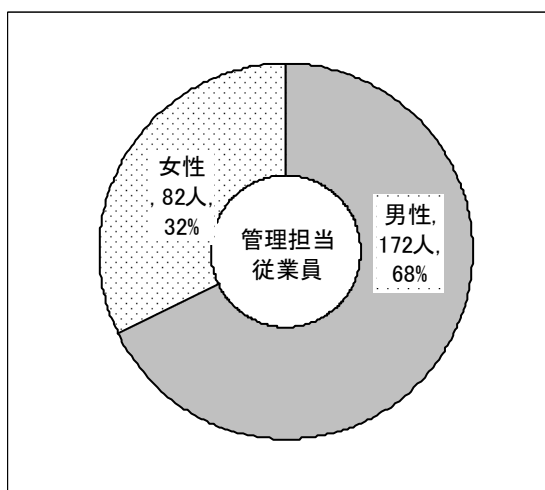
平成11年4月1日に改正男女雇用機会均等法が施行され、従業員等の採用や昇進、解雇などについては、性別を理由とした差別ができないことになっていますが、「現在も男女を区別して雇用」している事業所が13社となっています。

一方、「施行以前から男女を問わず雇用」が16社、「施行に伴い男女を問わず雇用」が13社、「法律に関わらず積極的に女性を雇用」が4社となっています。



3 管理職（現場の責任者や主任、班長など）について

問4 管理職の男性と女性は何名ですか。

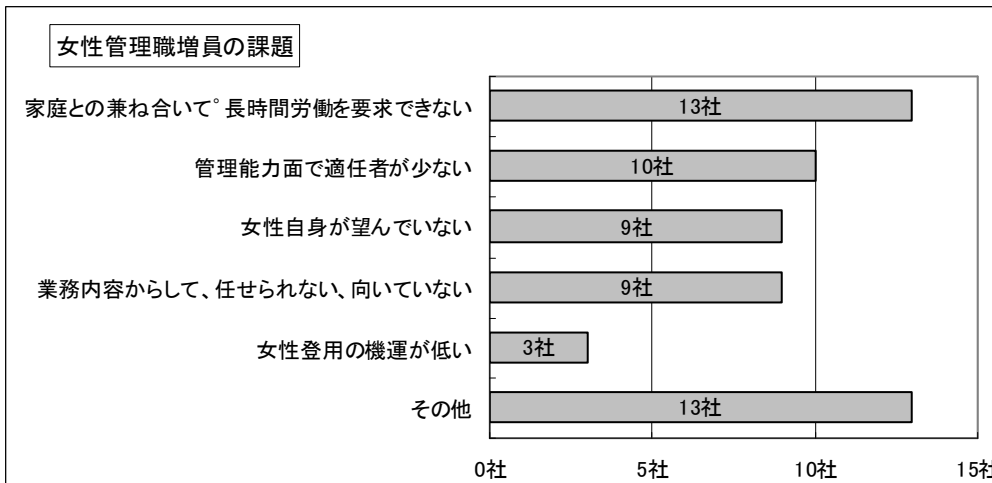


現場における責任者や主任、班長なども含めた職場における管理職の人数については、男性が172人、女性が82人と男性の方が多くなっています。

問5 女性の管理職を増やそうとした場合、なにか課題はありますか。
【該当するものすべてに○】

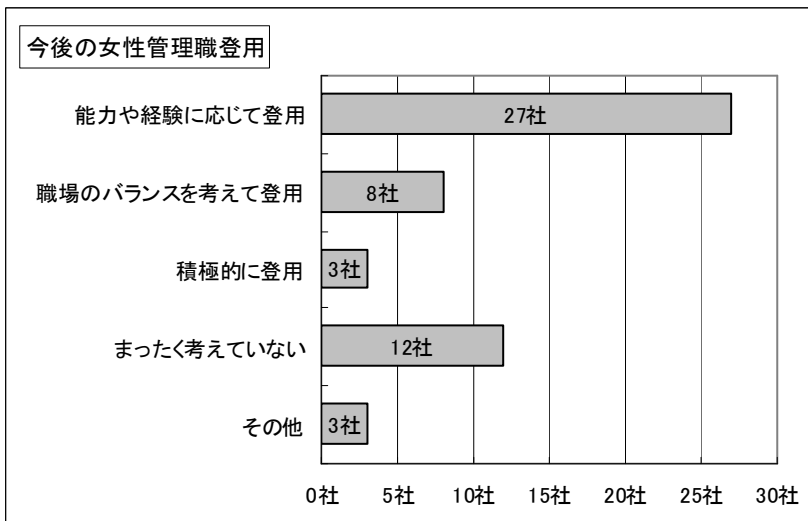
「家庭との兼ね合いで長時間労働を要求できない」が13社、「管理能力面での適任者が少ない」が10社、「女性自身が望んでいない」「業務内容からして、任せられない、向いていない」が9社となっています。

その他の意見として、「工作上、女性の管理職は必要なし」「デスクワークを要求する傾向が強く、現場業務を拒否する」、「休日勤務を拒否する」「課題は特に無い」「人材がいれば女性もOK」などがありました。



問6 今後の女性の管理職の登用について、どのように考えますか。
【該当するものすべてに○】

「能力や経験に応じて登用」が27社、「職場のバランスを考えて登用」が8社、「積極的に登用」が3社と、何らかの形で登用を考えているのが38社ありますが、一方、「まったく考えていない」が12社となっています。

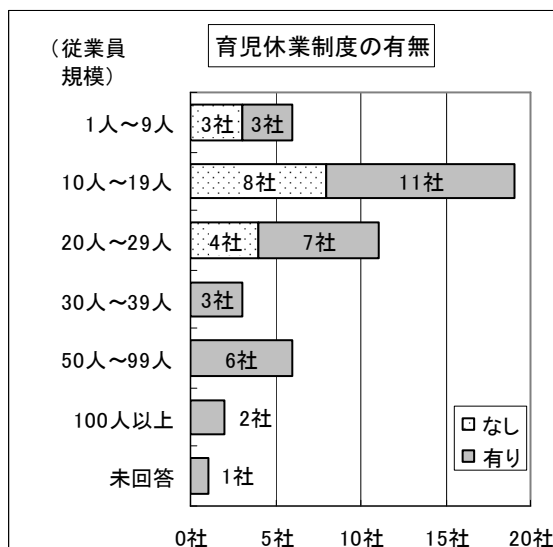
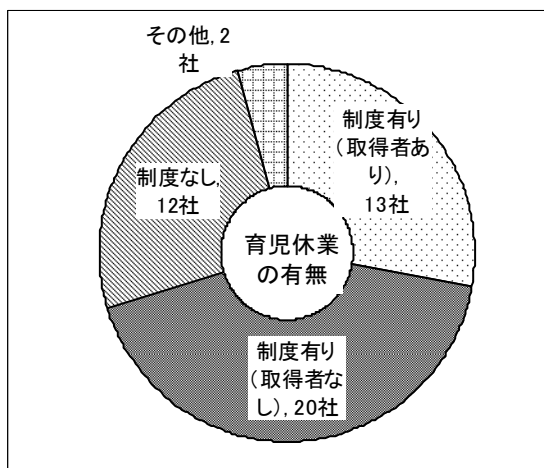


4 育児・介護休暇について

問7 育児休業（休暇）制度についておたずねします。

育児休業制度有りの事業所は33社で、うち「取得者有り」が13社、「取得者なし」は20社となっています。一方、「制度なし」は12社となっています。

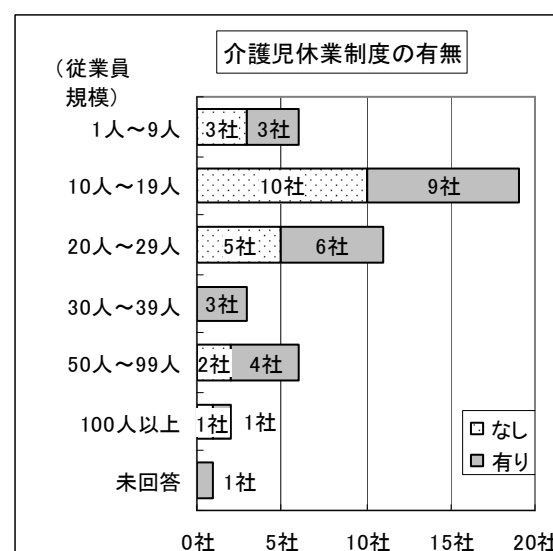
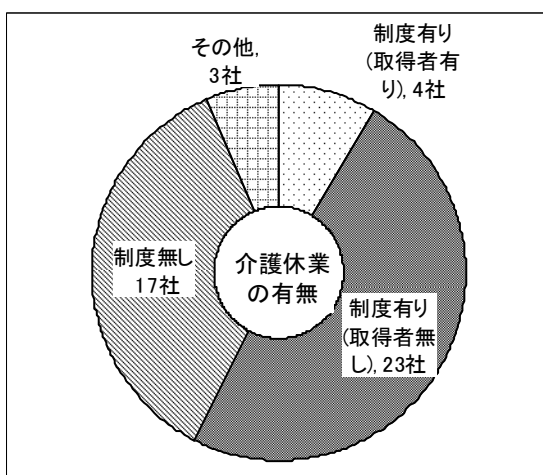
また、従業員数が多い事業所ほど育児休業の制度がある割合が高くなっています。



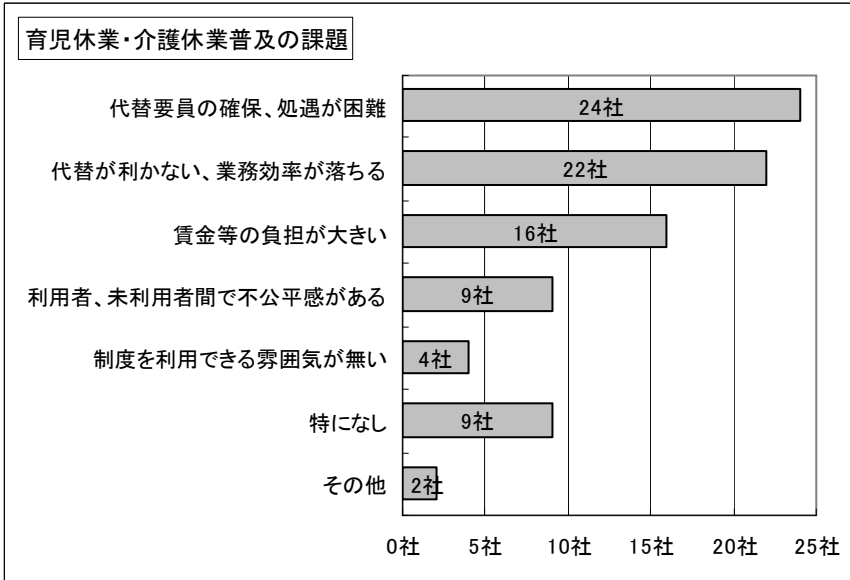
問8 介護休業（休暇）制度についておたずねします。

介護休業制度が有る事業所は27社となっており、育児休業（休暇）ほどではありませんが制度がある事業所は50%以上となっています。

また、従業員規模別の事業所で見ても、それぞれ約半数の事業所で介護休業（休暇）の制度があります。



問9 育児休業制度や介護休業制度の普及にあたって、課題と思われることはありますか。【3つ以内に○】



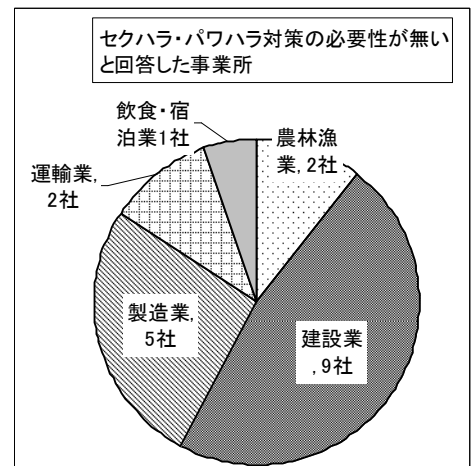
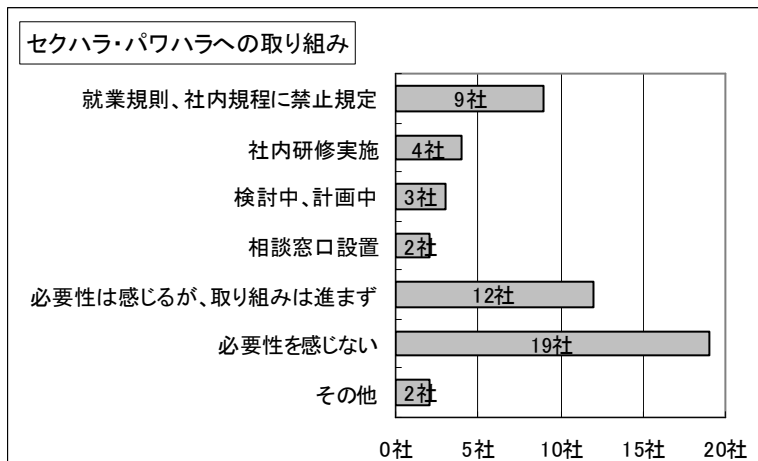
育児休業制度や介護休業制度を導入するにあたっては、「代替要員の確保、処遇が困難」との回答が24社、「代替が利かない、業務効率が落ちる」が22社、「賃金等の負担が大きい」が16社の順に多くなっています。

5 セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメントについて

問10 セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメントに対する取り組みを行っていますか。【該当するものすべてに○】

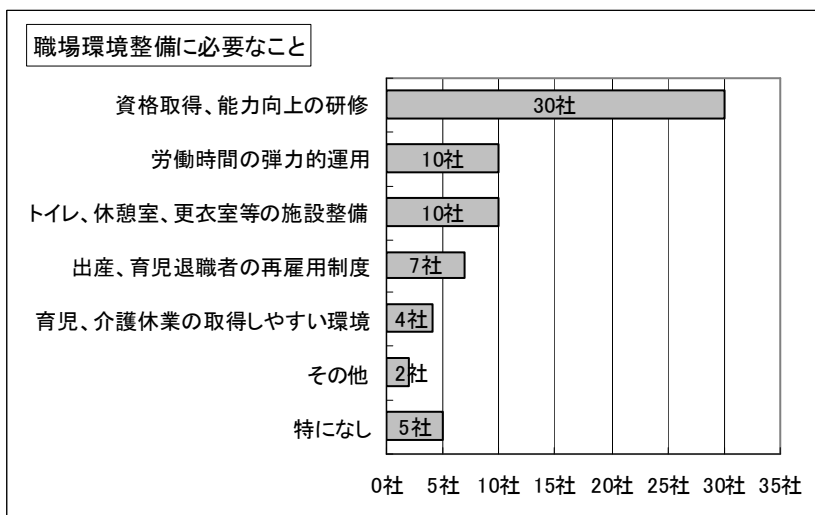
セクハラやパワハラへの取り組みでは、「就業規則、社内規定に禁止規定」が9社、「社内研修実施」が4社、「相談窓口設置」が2社となっていますが、一方では「必要性を感じるが、取り組みは進まず」が12社、「必要性を感じない」が19社となっています。

また、「必要性を感じない」が19社と最も多くなっており、業種では「建設業」が9社、「製造業」が5社、「農林漁業」「運輸業」が2社、「飲食、宿泊業」1社となっています。



6 事業所としての今後の取り組みについて

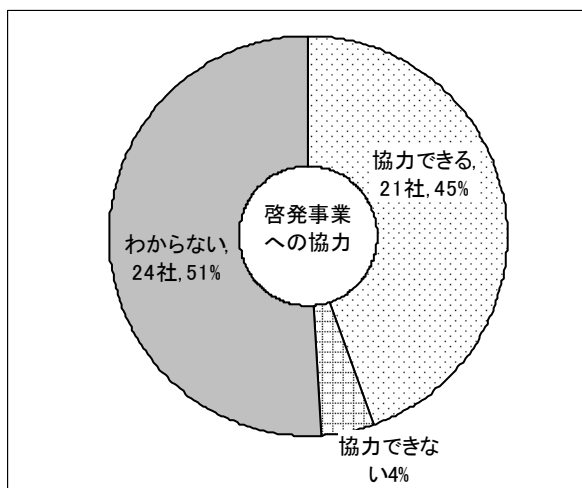
問 11 従業員が働きやすい職場環境をつくるために、今後、整備・充実していきたい事項についてお答えください。【該当するものすべてに○】



職場環境の整備充実に必要なことでは、「資格取得、能力向上の研修」が30社、「労働時間の弾力的運用」「トイレ、休憩室、更衣室等の施設整備」が10社の順に多くなっています。

7 男女共同参画社会について

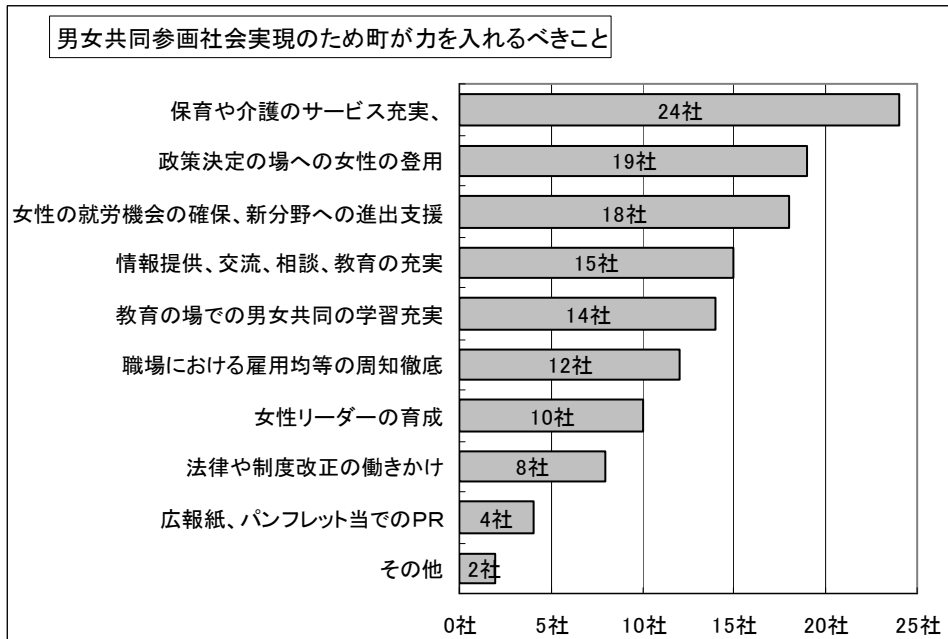
問 12 町では、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めていますが、今後、行政が男女平等（男女共同参画）等の啓発活動を行う際の事業所の協力についておたずねします。



啓発事業の協力については、「わからない」との回答が51%となっていますが、「協力できる」が45%と約半数が男女共同参画社会に向けた取り組みに協力的な回答を行っています。

問13 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、南三陸町ではどのようなことに力をいれていくべきだと思いますか。【5つ以内に〇】

「保育や介護サービスの充実」が24社、「政策決定の場への女性登用」が19社、「女性の就労機会の確保、新分野への進出支援」が18社の順に多くなっています。



【自由意見】

- ・ 男性も女性も、自分自身頑張り続けることと思います。どこにあっても頑張れる人が世に必要な方になっていくのではないのでしょうか。
- ・ 建設業を営んでいるが、職場に女性は就業してなく、もし、男女関係無く仕事ができるなら(力仕事等)女性とは考えないわけではないが、男性だけでも仕事が無く、月半分くらい休んでいるのに。会社経営存続でさえ危ぶまれているので、共同参画には考えられない。
- ・ 会社に利益がないとできないことがある。兼務の仕事が増えているうち、新たに雇用ができるとは思わない。
- ・ アンケートの趣旨は理解しているつもりです。疑問なのは各休業制度を取り入れている職場はどんな職場なのでしょう。それから、このようなアンケートを実施するということは、かたくなに共同参画を拒絶する職場があるという裏づけがあるからなのでしょう。直接的な売り上げを求める弱小企業には、おおよそ遠いアンケートかと思います。(社は男女の区別は無いですが、弱小ゆえ希望者は皆無)それよりも雇用を安定させる経済社会を構築させる方向へご尽力されますことを願います。そうなれば共同参画もスムーズになるのかと・・・。
- ・ 職種により差が出るのは仕方ないと思います。例えば肉体的労働が伴う職種など。
- ・ 当社は漁業会社で漁船員は男性でなければ務まらないので、男女共同参画について意識は特にありません。
- ・ 自社では、バツイチの女性が多く、中学生や高校生の子どもを学校から自宅まで送迎してくれる人が無く、そのたびに帰るようになったり、仕事を休むようになってお金が取れなくなり困っているようなので、その点を改善して欲しい。